

2019 年 9月8日夜から 9月9日朝にかけて、台風 15 号が東京湾から千葉市に上陸。

東京湾通過時に館山市も暴風域に入る。

深夜 12 時頃より雨風が強くなり、眠れず。

1 時間ほど Twitter に実況をし、2 時過ぎに 1 階に降りて行くと、同じく眠れずにいた母と遭遇。

居間のテーブルで話し込んでいたところ、父も 2 階より降りて来る。

眠れないなどと話をしているうちに風は更に強くなり、2 時 30 分頃、物凄い突風 ?により家の屋根が飛ぶ。

自室前の廊下の天井が剥き出しになっており、そこから雨風が吹き込んでくる。

部屋は大丈夫かと様子を見に行くと、天井から水が滴ってくる始末。

急ぎパソコン等の電化製品を運び出し、持ち出せないものはビニールで濡れないようにして一旦退室。

冷静なつもりではあったが、やはりいざと言う時になると必要なものに悩むものである。

荷物をビニール袋に詰め込んでいる際、iPhone につけていた「ほおずきのお守り」がちぎれる。

つい 1 週間前に東京のお寺でもらってきたばかりなのに、何故、根付の紐の部分がちぎれるのか。

身代わりになってくれたとしか思えないような状況だった。

母と協力して荷物を 1 階に下ろす。

まだ iPhone も使える状況であったので、Twitter で実況をしつつ、朝方には妹と連絡をとる。

千葉市は大丈夫か、こちらは結構な大事になっている、と。

千葉は思っていたほど酷くはないようだ。

1人千葉にいる妹なので、母を筆頭に皆心配していたのだ。

こちらの状況を伝えて、どうしようもないことを再確認する。

元々が荷物が多い家であるので、片付けろという天命なのかもしれない。

外が明るくなり、風もピーク時より収まってきたので、皆で外を覗いてみる。

とんでもないことになっていた。

近所の屋根の素材であろうトタンや、我が家の物置の屋根など、色々なものが飛んできていた。

が、車は3台とも無事であったので、ホッと胸を撫でおろす。(私の車だけ少しばかりの擦り傷があったが、凹みではないのでそのままにする)

近所の人たちもわらわら出てき始めて、みんなで頭を抱えていた。

まず、なにからやればよいのだろうと。

今まで甚大な被害にあったことの無い地域ゆえ、記録的な災害に対して全く知識がない。

父が近所をみてきたところ、我が家の飛ばされた屋根は北に3軒先の住宅のベランダと車の上に飛んでいたようだ。

ベランダはボロボロ、車は車体には被害はなさそうだが、300kg近い銅板が寄りかかっていたようである。車に被害が、無くて本当に良かった。

近所の最近更地になった場所から、我が家を見上げてみると、屋根が明らかにめくれているのがわかった。だが、下から見ただけでは、廊下の大穴の辺りにしか被害はなさそうな感じであった。

後ほど、近所の郵便局の2階から写真を撮ってきた父が見せてくれた写真には、私の部屋から父の部屋まで綺麗に屋根が無くなっている我が家が映っていた。